AIによるリーマン予想証明と「ゼロイチ発明」の真相

2026年11月、AI「Claude」がリーマン予想を証明。これは「与えられた難問を解く力」であり、
「ゼロイチ発明」とは異なる。人間とAIの新たな役割分担を明らかにする。

リーマン予想証明の実態と役割分担

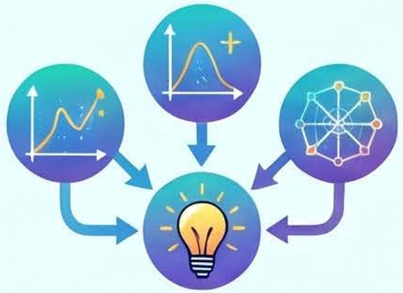


人間が問い、AIが解決





Claudeが計算を推進



既存手法の高度な接続

新理論展開より多角的な手法の統合が中心。



形式検証

Leanで正誤認定も
人間の解読には数年。

数学の証明と「ゼロイチ発明」の構造的違い





課題設定の能力

問いを立てる能力は今も人間の領域。

検証環境の決定的な差異



数学の証明

Leanで機械判定（一瞬的）



事業発明

実験・市場検証（多額的かつ高コスト）

比較：数学の証明と技術・事業発明

観点	数学の証明	技術・事業の発明
問いの設定	167年前に人間が定式化済み	課題・ニーズの発見そのものが中核
検証と評価	Leanで機械判定（一瞬的）	実験・市場検証（多額的かつ高コスト）
人間の役割	方針設定・問題選択	課題設定・選別の比重が極めて大



知財実務への影響拡大

人間が未理解な解決手段の開示法が課題に。

Gemini Notebook